



子供の命を守る態勢の整備こそ

千葉県野田市の小学四年の心愛さんが自宅で死亡。両親が傷害容疑で逮捕された。これから希望をもって生きてかかった筈なのに・・・と心が痛む。

どうしてこんな事に？

事態の推移を振り返ってみよう。父親の暴力があるとして児童相談所は父親から心愛さんを離れた。しかし、心愛さんの行き先は児童保護施設では無く父親の実家。母親が会い、父親のメール通りに手紙を書かせた。「父親の暴力は嘘でした」と。

児童保護施設なら

もし、児童保護施設だったなら、職員に手紙を書かされたと話しただろう。児童保護施設に空きが無かったとは容易に想像出来る。

こういう施設は常に空きを備え、何時でも収容できる態勢が必要。「空きがあると無駄」と云う風潮が問題だ。

忙しすぎる児相

児童相談所の、現職員は「連日十時まで残業。それなのに午前三時に呼び出しが日常茶飯事」だそうだ。

担当児童に異変があれば夜中でも駆けつける。新しい事案も生ずる。何時でも対応するには、使命感に頼るのではなく、予算を増やして、人員を増やし、即応する態勢を作る必要があるのではないか。

あなたはどう思われますか？

石垣島直接請求

前号で石垣島の住民投票条例制定の直接請求は、有権者の37%が署名した事を報じました。しかし、市議会で可否同数となり議長決裁で否決とされたそうです。

富士山 ー 三浦富士から

神奈川県横須賀市長沢

二〇一九年二月



木枯らしがおさまった温かい日差しに誘われて、京浜急行に乗った。京急長沢駅から、三浦富士へのハイキングコースに。

登り口から直ぐの所に「平和の母子像」がある。一九七七年の米軍機墜落事件で亡くなった母子を悼む碑だ。ジジ通信50号で報告。

三浦富士は海拔一九二m。海面近くから登り始める。たいした山では無いので、老若男女が次々と登ってくる。しかし、尾根に沿って上り下りがあるので、登り返す高さの合計(累積標高差)は二百数十mになるだろう。

江戸時代から富士講で登山した人が多かったそう。山頂には石造りのお社や記念碑が幾つもある。

山頂から西は伊豆の山々、その先に富士山が見えた。